

近接性評価割引について

平成27年11月

北海道電力株式会社

事務局提示案に対する当社試算結果

1

◆事務局提示案による割引総額および託送料金への影響は下記のとおりです。

○近接性評価方法変更に伴う影響額試算結果

- ・基幹系電源の地域、単価について、案A～Dを試算
- ・特高、高・低圧電源は地域、単価ともに申請値

(単位：百万kWh、百万円、円/kWh、税抜)

			基幹系	特高	高・低圧	合計	単価影響
案A 申請中	基幹系電源：申請地域・申請単価	割引電力量	38	1,414	377	1,829	—
		割引総額	8	565	211	784	0.02
案B	基幹系電源：現行地域・現行単価	割引電力量	984	1,414	377	2,774	—
		割引総額	187	565	211	963	0.03
案C	基幹系電源：現行地域・申請単価	割引電力量	984	1,414	377	2,774	—
		割引総額	197	565	211	973	0.03
案D	基幹系電源：申請地域・申請単価 (現行割引対象の既設基幹系電源含む)	割引電力量	38	1,414	377	1,829	—
		割引総額	8	565	211	784	0.02

○近接性評価割引単価

(単位：円/kWh)

	割引単価(税抜)	
	申請値	現行
高・低圧電源	0.56	(基幹系・特高・高圧電源) 0.19
特高電源	0.40	
基幹系電源	0.20	

◆事務局提示案に対する当社の考えは下記のとおりです。

○今回の申請にあたり、評価対象地域については潮流改善効果に着目し、より細かな地域単位（市町村）による設定としており、また、割引単価については低圧電源を含めるとともに、投資抑制およびロス改善に伴う効果を踏まえた設定としております。当社といたしましては、申請中（案A）の評価対象地域・割引単価を適用することが妥当であると考えております。

○事務局からご提示のありました案B～案Dにつきましては、評価対象地域や割引単価の考え方を基幹系電源とそれ以外の電源で違えることとなるため、課題があるものと考えております。

[illegible]

現行の評価地域

赤平市、旭川市、網走市、石狩市、岩内町、岩見沢市、
恵庭市、江別市、小樽市、音更町、帯広市、北広島市、
北見市、釧路市、釧路町、倶知安町、札幌市、滝川市、
千歳市、七飯町、南幌町、根室市、登別市、函館市、
美唄市、北斗市、妹背牛町、余市町（五十音順）

- ・ 上川総合振興局
- ・ 宗谷総合振興局
- ・ 十勝総合振興局
- ・ 根室振興局
- ・ 留萌振興局
- ・ オホーツク総合振興局
- ・ 釧路総合振興局